



開運洞



昭和時代



明治・大正時代



江戸時代



● A 坑道最深部

坑道内展示

約 400 年間にわたり掘り開いた坑道の長さの総延長は 1,234 キロメートル(およそ東京から博多間)に達します。この坑道は「日本一の鉱都」と呼ばれた足尾銅山を再現する国内最大の坑内観光です。江戸時代の手掘りの様子から機械化された鉱山の様子まで、当時の作業会話等を交えて、より親しみやすく展示いたしました。鉱山の歴史や内容、また鉱山のもつ様々な仕組みを知ることができます。

あかがね 銅資料館

資料館には横間歩立坑や発掘された鉱石・製錬所の当時の様子を再現した模型を展示。トロッコなども間近に見ることができます。



[C 坑道] 70m



[D 坑道] 110m

Welcome Ashio Coppermine ようこそ足尾銅山観光へ



●コントロールマシン



坑道入口



[A 坑道] 170m



ちゅうせんざ 鑄銭座

時代劇の銭形平次でも知られる一般的な貨幣、寛永通宝(一文銭)は江戸末期まで各地で造られていました。そのうち足尾で造られた寛永通宝にはすべて裏に「足」の字が刻まれ「足字銭」と呼ばれています。ここでは、その足字銭を造る様子を人形を使って再現していますので、昔のお金の造り方がわかります。

●さく岩機体験コーナー



ステーション (トロッコ 乗車場)



1F トイレ・2F 売店

のぼり階段
(約 70 段)

●出口・駐車場・売店へ



下り坂 100m



●足尾銅山観光入口

入坑券売場

